



リアル二刀流と リアルに握手！ —大谷翔平選手握手像が完成—



市と水沢鑄物工業協同組合は、本市出身でプロ野球北海道日本ハムファイターズの大谷翔平選手を応援するため、共同で「大谷翔平選手の握手像」を制作。4月6日、水沢区羽田町の市伝統産業会館（キューポラの館）で握手像の除幕式を行いました。この握手像は、本市を代表する伝統的工芸品「南部鉄器」の技術を用いて作られたもので、職人の皆さんの熱い思いが込められています。今回は、握手像とその制作の様子を紹介します。

■問い合わせ先 本庁商業観光課観光物産係（内線272）

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 【特集】リアル二刀流とリアルに握手!?!—大谷翔平選手握手像が完成
- 8 29年度 施政方針
29年度 教育行政方針
- 10 29年度 予算の概要
- 14 市観光施設民間委譲地域説明会
百歳おめでとう
- 15 ILC希望のひかり
- 16 協働まちづくりのすゝめ!
- 17 70年の歴史に幕おろす
いざ!胆沢中へ!
- 18 まちの話題
- 19 市政ズームイン
- 20 夢トーク
青春讃歌
- 21 雨の日も晴れの日も
市長コラム「おうちゅう羅針盤」
- 22 我が家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 23 トマス・アンナの あんなこと
こんなこと
姉妹都市 掛川だより
- 24 情報あらかると
- 28 奥州遺産



日課の写経は、約14年間一日として欠かしたことはない

暮らしの中に 「書」のある人生を

佐藤 紳夫さん（70歳）
住居 衣川区古戸

春の陽光が差し込む書齋で、佐藤紳夫さんは心を静め、丁寧に筆を運ぶ。小学生のとき父の影響で書道をはじめた紳夫さんは、昇段時に父が筆や紙などをプレゼントしてくれることが励みになり、中学生で八段を取得。高校でも腕を磨き、書を学ぶため二松学舎大学に進学。日本の書道教育の第一人者である石橋犀水教授に師事した。石橋教授に同行して釜石市を訪れたことがきっかけで県の教員試験を受け、大学卒業後に釜石北高校（現釜石高校）

春の陽光が差し込む書齋で、佐藤紳夫さんは心を静め、丁寧に筆を運ぶ。小学生のとき父の影響で書道をはじめた紳夫さんは、昇段時に父が筆や紙などをプレゼントしてくれることが励みになり、中学生で八段を取得。高校でも腕を磨き、書を学ぶため二松学舎大学に進学。日本の書道教育の第一人者である石橋犀水教授に師事した。石橋教授に同行して釜石市を訪れたことがきっかけで県の教員試験を受け、大学卒業後に釜石北高校（現釜石高校）

に赴任。平成19年の退職まで、国語と書道の教員として県内各地で教鞭を執った。平成15年には、日本書道教育学会展で県内初の内閣総理大臣賞を受賞。「書を通じた出会いは財産」と語り、書を入れた焼き物を作るなど目標とする「暮らしの中に書のある人生」を実践し続けている。「仕事の転勤などで長年故郷を離れていたから、これからは地域のために尽くしたい」とほほ笑む紳夫さん。今日も筆を手に、郷土への思いを一字一字に込める。



さとうのぶお◎昭和21年、衣川区生まれ。書家・佐藤平泉（へいせん）として県書道協会会長、(公財)日本書道教育学会参与などを務める傍ら、書道研究平心会を主宰する。母と妻との3人暮らし



〈今月の表紙〉

水沢区羽田町字芦ヶ沢^{しらかば}地内の国道397号沿いにある「芦ヶ沢フラワーロード」で2月25日、国際リニアコライダー（ILC）をPRする看板の設置式が行われました。ILC誘致への機運を盛り上げようと、水沢区の(株)アトム工房（小野寺誠代表取締役）が同ロードの土地を所有する芦ヶ沢自治会の佐藤徹会長に看板を寄付。同自治会が設置を行ったものです。佐藤会長は「世界に誇れるよう、この市内でも立派な看板を設置できた。看板に負けないように応援していきたい」と力強く呼び掛けました。

地域の個性が
ひかり輝く
自治と協働のまち
奥州市